

事業所名

多機能型放課後等デイサービスぐるーあつが高原

支援プログラム

作成日

7年

2月

19日

法人（事業所）理念		・わたしたちは、高い専門性と思いやりをもって利用者にサービスを提供することにより、会社・社会共々地域に貢献します		
支援方針		・一人ひとりの良さ、その子らしさを伸ばし自立に向けた支援を目指します		
営業時間		・学校がある日 10:00～18:00	・学校が休みの日 9:00～17:00	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の確認、維持(バイタルサインチェック・心身状況確認とした面談・水分補給等) 生活習慣、リズムの形成と日常生活スキルの獲得(食育・睡眠・入浴・整容着脱等) 緊急時の対応(関係医療機関への速やかかつ円滑な連携) 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 粗大運動と微細運動の向上、維持(ストレッチ、ラジオ体操、生活運動行事への参加や推進、手先の細やかな動きや巧緻性を高める支援) 通学や習い事等の移動手段として自転車の練習、実践 ・高次エビデンス、ブレインジムに基づいた基本的動作や応用動作にアプローチしたクロススクロールや両手操作、両手協調 理学療法士が作成した専門的支援計画書に基づいた感覚特性へのアプローチ(固有覚、前頭前野や前庭野を意識した運動と製作活動)・衝動性を抑えるサーキット 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 特性や特徴をアセスメントしたうえでTEACCHプログラム、構造化の施行または緩和 視覚化しスムーズに行動へ移せる個別スケジュールの提供、聴覚優位の場合にはタイマーやフレーズの確立 ・気持ちの切り替えのためのクールダウン ビジョントレーニングによる眼球を動かす筋肉を鍛え見る力、機能を向上及び維持 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 場面に応じた発信を受容から自発性へ移行できるU-SST(コミック会話や気持ちのプリント)の提供および実践 アイデンティティを尊重したエンパワーメントを引き出すことで自身の感情の言語化や表出と聞く力をサポートするSST(インストラクション➡モデリング➡リハーサル➡フィードバック➡般化の5段階)に基づいたロールプレイ 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 様々な場面、場所での過ごし方やその場の交流を目指した野外活動(図書館や映画館、商業施設の利用) 小集団活動(UNOやトランプ等のカードゲームや人生ゲーム等のボードゲームを用いたやり取り)を経験しルールやマナーの学習とフィードバック 役割を理解して行動できるようチーム分けされた組織活動及びゲーム(野球やサッカーといった運動、ピクニックや集団行動散策等) ・対人距離感と性についての教育 		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ご自宅での困り感や子育て、兄弟との関りを含む相談支援 利用上の相談や保護者様の就労状況に対応できる延長支援 レスパイトケアやケア後の面談と相談支援 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 就学前の相談支援及び関係機関との連携 事業所のご利用終了に伴う支援としてお留守番や習い事、学童との併行利用、部活等の相談支援
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 市町村、社会資源の活用と公共交通機関の利用及び連携 就学前(保育園・幼稚園・こども園)と就学後(小学校・中学校・高校・支援学校)、就労先(一般企業・就労事業所A型・就労事業所B型等)との情報共有 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 年間研修スケジュールの作成と実施、研修効果については振り返り研修 事業所外(子ども支援部会、社会福祉協議会等)の研修参加 虐待防止研修の徹底
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 年末年始や春夏秋冬、月行事等に応じた製作活動や催し等の野外活動への参加交流 公共施設、公共交通機関等の利用と協力活動行事 障がい福祉、児童福祉事業が開催するイベントや絵画展、コンクールへの参加及び利用をする事による交流 		

事業所名

多機能型放課後等デイサービスぐるーあつが高原

支援プログラム

作成日

7年

2月

19日

法人（事業所）理念		・わたしたちは、高い専門性と思いやりをもって利用者にサービスを提供することにより、会社・社会共々地域に貢献します						
支援方針		・一人ひとりの良さ、その子らしさを伸ばし自立に向けた支援を目指します						
営業時間		9時	0分	17時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の確認と維持(バイタルサインチェック、心身状況の確認、衣服や清潔、水分補給等) 食事、嗜好に至る食育や生活リズム(睡眠、入浴、排せつ等)、口にしても良いもの悪いものが理解しやすい方法(絵本や紙芝居を用いた視覚的アプローチ)の練習や実践 安全と危険の理解ができる室内外での遊び、散歩や災害を想定した避難訓練の実施、参加 ・緊急時の対応(関係医療機関への速やかかつ円滑な連携) 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 安心できる環境の中で聞く、見る、触れる、騒ぐ、味わう感覚と水、砂、土、紙、粘土等の様々な素材に触れることへの感覚統合遊びと支援の提供 音楽(リトミックやピアノ、合唱)等の療法と遊び訓練を交えた運動療育 ・静と動、衝動性を抑えることトライアンドエラーを空理返し理解できるサーキット 粗大運動と微細運動の向上、維持(ストレッチ、ラジオ体操、生活運動行事への参加や推進、手先の細やかな動きや巧緻性を高める支援) 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 特性や特徴をアセスメントしたうえでのTEACCHプログラム、構造化の施行または緩和 視覚化しスムーズに行動へ移せる個別スケジュールの提供、聴覚優位の場合にはタイマーやフレーズの確立 ・気持ちの切り替えのためのクールダウン ビジョントレーニングによる眼球を動かす筋肉を鍛え見る力、機能を向上及び維持 						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 言語聴覚士等の専門員との連携を行い年齢、発達状況に伴う部分と特性上の言語障害分類(聴覚障害・失語症や言語発達障害・構音障害、吃音)、生理学上の口腔蓋、舌(奥舌面、前舌面)からなる音、不明瞭な言語(破裂音、通鼻音、摩擦音、破擦音等)のアセスメントと総括した発語練習・遊び 物や人、動物等の単語から気持ちの種類とサインカード等を組み合わせたコミュニケーションから紙風船等を用いた肺等の機能訓練 						
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 小集団での工作(折り紙や季節の飾り)においての物(はさみや色鉛筆等)の貸し借りややり取りが生まれる活動 就学に向けたお友達との関わりや善悪、ルールマナーを経験できる環境と構造化、小児SST活動 自身の気持ちと他者の気持ちを理解する訓練や療法 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ご自宅での困り感や子育て、兄弟との関りを含む相談支援 利用上の相談や保護者様の就労状況に対応できる延長支援 レスパイトケアやケア後の面談と相談支援 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 就学前の相談支援及び関係機関との連携 事業所のご利用終了に伴う支援としてお留守番や習い事、学童との併行利用等の相談支援 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 市町村、社会資源の活用と公共交通機関の利用及び連携 就学後(小学校、学童)との情報共有 相談支援事業所、他児童発達支援事業所との情報共有と連携 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 年間研修スケジュールの作成と実施、研修効果については振り返り研修 事業所外(子ども支援部会、社会福祉協議会等)の研修参加 虐待防止研修の徹底 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 年末年始や春夏秋冬、月行事等に応じた製作活動や催し等の野外活動への参加交流 公共施設、公共交通機関等の利用と協力活動行事 障がい福祉、児童福祉事業が開催するイベントや絵画展、コンクールへの参加及び利用をする事による交流 						